

「つながる」

平成5年に活動をスタートした、AZ9 ジュニア・アクターズ第1期生は、今年で30歳になりました。卒業生の数も250名を超え、俳優の道に進んだ方、舞台の裏方に興味を持ち、美術として働いている方など、卒業生はアクターズで培った表現力や積極性を大いに活かし、様々な場所で活躍しています。卒業生たちは、公演が近付くと、後輩たちを手伝いに集まってくれます。現役生たちは、先輩たちの姿を心に刻み、次の世代へと助け合いの輪を広げていきます。

「支え合い」

アクターズの活動は出演者である子どもたちの頑張りほかに、保護者の方々の協力が必要不可欠です。子どもたちの送り迎えを始め、舞台で必要な衣装や小道具・大道具は、保護者の方々の手作りによるものです。土・日・祝日や休日集まり、衣装は型紙を切るところから、小道具では発泡スチロールに線を引くところから、大道具では木材をのこぎりで切るところから始まります。

毎年、公演間近の1月になると、練習場から子どもたちの歌声が聞こえ、作業場では木材を切る音やミンシンの音が聞こえ、「もうすぐ」と気分が高鳴ります。

アクターズの公演が観客の皆様を魅了することができるのは、多くの方々のご協力と、出演者や保護者の皆様を始め、スタッフたちが一丸となって「良い舞台を作ろう」と協力し、ひとつの目標に向かう「ひたむきな姿」にあるのかもしれない。最後に、第4回からご指導いただいた

る、渡部ギユウ氏から頂いたメッセージをご紹介します。

皆様に支えられて20周年！

ご声援に感謝いたします

演劇のレッスンに加えて、地域文化にふれるユニークな活動も行ってきました。川遊びや絵灯ろうづくり、そば打ちや陶芸、神楽や能のワークショップなど楽しい思い出がよみがえります。そしてこの街の文化拠点「えずこホール」での公演は、子どもたちにとって貴重な場です。子どもたちを育てるまさに「えずこ」です。舞台表現を通して阿武隈川流域の豊かな自然と文化を次代へ繋ぐため、今後も充実した活動を目指していきます。

養成指導 渡部ギユウ (原文まま)

結成20周年を迎え、新たなスタートを切ったAZ9ジュニア・アクターズ。今後も応援をよろしくお願いします。
※活動の様子は組合HPでも発信しておりますのでご覧ください。
(<http://www.az9.or.jp/kyouiku/actors/katsudou/index.html>)

これまでの公演
○第1回公演 (丸森小学校体育館) 「風子の花」
○第2回公演 (円田中学校体育館) 「ティアーズ」～心の水～
○第3回公演 (村田町民体育館) 「みかんせいこうきょう詩」～昨日・今日・明日～
○第4回公演 (えずこホール(以降全て)) 「転校生」～時の十字路の物語～
○第5回公演 「明日また遊ぼう！」 ～時さえ忘れる蔵王の麓のファンタジー～
○第6回公演 「SIMI」～小さき生き物たちの伝説～
○第7回公演 「山猿の子」 さよなら 20世紀 ～子どもたちの純な魂の交感が 21世紀の扉を開く～
○第8回公演 「しーんかーんミステリー」～誰かが僕らを夢見てる～
○第9回公演 「ナイトランド」～夜を呼吸する妖怪たちの物語～
○第10回公演 「本の中の静かな海」～SHI★MI～
○第11回公演 「THE RIVER STORY」～AZ9版「たのしい川べ」～
○第12回公演 「銀河のレクイエム」
○第13回公演 「眠りの森の翼」
○第14回公演 (地域公演・白石市) 「遊びの天才遊びの国へ行く」
○第15回公演 (地域公演・蔵王町) 「少年少女凶鑑」～僕たちは理科室から旅にでる～
○第16回公演 (地域公演・七ヶ宿町) 「アズナートの森」
○第17回公演 (地域公演・川崎町) 「A TREE」～夢をつなぐ大いなる樹木の物語～
○第18回公演 (地域公演・角田市) 「ランドセルの不思議な旅」
○第19回公演 「フレンズ」 ～蒼い海と碧の山の間で私たちは大きな白い大漁旗を上げよう～
○第20周年記念公演 「THE RIVER STORY」～水鏡の中の不思議な世界～

